

# No-Dig Today

季刊 ノーディグトゥデイ

環境にやさしい非開削技術

JAPAN SOCIETY FOR  
TRENCHLESS TECHNOLOGY

2018  
Jan.  
No. **102**

## 目次

3	●平成30年 年頭のご挨拶	(一社)日本非開削技術協会会長	森田 弘昭
4	●写真速報 第28回非開削技術研究発表会／土木学会第72回年次学術講演会／非開削技術講習会(第1回東京)(第2回大阪)		
7	●特集／大中口径管路の非開削建設技術		
8	●特集のねらい	中川ヒューマン管工業㈱(本誌編集委員)	人見 隆
15	・厳しい環境条件の中でも経済的な長距離・急曲線施工を可能としたデュアルシールド工法	デュアルシールド工法協会事務局長	中村 浩
24	・地中障害物対応型推進工法による既設構造物への直接到達	ヤスダエン지니어リング㈱設計部課長	藤田たくみ
30	・超大口径管推進工法の更なる拡大へ	機動建設工業㈱土木本部次長	矢萩 元彦
35	・管渠事業における密閉型大口徑推進の現実と重要性	ジオリッド協会事務局長	新川 大一
41	・密閉型推進工法の課題を解決する複合式推進工法(ハイブリッドモール工法)	ハイブリッドモール工法協会事務局長	虻川耕太郎
49	・老朽化した農業用水路が新設管に甦るCMT改築推進工法の開発と施工事例	㈱熊谷組名古屋支店土木事業部作業所長 大洋基礎工業㈱工事部課長 CMT工法協会広報担当	遠藤 建史 畠山 薫 木下 貴義
55	・アルティミット工法の近年の取り組み	アルティミット工法協会会員	吉田 桂三
59	・推進工法用固結型滑材「こんにやく可塑剤」	㈱ジオックス技術営業部	大久保 勝 今井 一裕
64	・推進自動測量システムのはなし	㈱ソーキ顧問	稲葉 富男
66	●技術投稿		
69	・下水道管路内調査用ドローンの開発・実用化	㈱NJS取締役開発本部長 開発本部ドローン開発部長 開発本部システム開発部長	谷戸 善彦 稲垣 裕亮 大西 明和
75	●国内イベント報告		
78	1・「下水道管更生技術施工展2017青森」開催	(公社)日本下水道管路管理業協会常務理事	篠田 康弘
84	2・OYOフェア2017報告		
86	3・つくばフォーラム2017基調講演と特別公演ならびにワークショップ1報告	日本メックス㈱(本誌編集企画小委員長)	黒岩 正信
91	4・つくばフォーラム2017レポート	アイレック技建㈱(本誌編集委員)	森 治郎
96	●第28回非開削技術研究発表会		
98	発表論文アブストラクト		事務局
99	特別講演 北米における管路更生工法の経年劣化総合試験結果	ルイジアナ工科大学名誉教授	レイモンド・スターリン
100	●知って得する身近なScience 百里を行く者は九十里を以て半ばとすべし		西尾 宣明
101	●連載 -IT技術-		
102	やさしいネットワーク・セキュリティ(2) フィッシング詐欺への対策技術	東海大学大学院情報通信学専攻科情報通信学専攻主任教授	村山 純一
103	●会員談話室 お酒の話	国士館大学教授(当協会理事・本誌編集委員)	堀地 紀行
104	●モニター感想文 101号を読んでみて	日本ノーディグテクノロジー㈱ 三井金属エンジニアリング㈱パイプ・素材事業部 伊藤忠建機㈱エンジニアリング事業部山岳土木機械部	伊藤 雅人 河村 栄治 前田 昇吾
109	●UP DATE		
110	●Back Number		
111	●特集・技術記事お問合せ先		
112	●新入会員の紹介 ㈱ホルテック		
113	●JSTT・委員会		
114	●編集後記	本誌編集委員	橋本 好弘



### 〈読者応募作品〉

#### 四季の鳥・冬(トラツグミ)

撮影 名執修二

トラツグミ(虎鶉)は日本では留鳥として周年生息して本州、四国、九州の低地から亜高山で繁殖します。みどりの森博物館周辺では冬鳥として見られますが、個体数が少ないためにめったに出会うことがなく、観察できたら幸せに感じる鳥です。この写真は雪が残る林床で撮影されたものです。雑食で、雑木林などの地面を落ち葉をかきわけながら歩き、ミミズや昆虫類を捕食します。冬には木の実も食べるようです。夜中や雨天や曇りの暗い日に細い声で、「ヒュー、ヒュー」と鳴くので、「ぬえ」という架空の動物の鳴き声と気味悪がられることもあったようですが、私は聞いたことがありません。この独特の鳴き声は古くは古事記や万葉集にも登場しているようで、伝説の怪物「ぬえ」のものとして恐れられていたようです。黄色い体色に黒い斑点が虎のようだということから、トラツグミという名前になったようですが、この色合いはなかなか良いものです。通常地面にいる鳥ですが、木の枝に止まったものを真下から見たことが一度だけありました。貴重な経験でした。鳥が水浴びをしているところなど、普段と違う行動が観察できるとうれしいものです。

(緑の森倶楽部所属)

### ○提携媒体

Trenchless International

※特集および投稿論文は、著者の責任において執筆された記事であり、必ずしも日本非開削技術協会の見解ではありません。  
 ※技術論文などにはキーワードを付与しています。これによりJSTTホームページでの検索ができます。

表紙の写真：ウィーンの市電(路面電車)とショットントーア界隈  
 オーストリアSTTのあるウィーンは、「リンク」と呼ばれる環状の大通りに囲まれた旧市街を中心とした街です。写真はショットントーアという市電の駅で、赤と白に塗り分けた市電は2車体連接車が1両のトレーラをひく編成です。観光にはリンクを走る路面電車が便利です。